

第4章 開放区の配植の検討

(対象：近鉄奈良駅～国際フォーラム前庭)

目 次

検討の目的	39
1. 前提条件の整理	40
(1) 植栽地の選定	40
(2) 植栽条件の整理	43
2. 配植の検討	46
(1) 配植方針	46
(2) 植栽箇所別の配植	47
(3) 植栽標準図	51
(3. 整備計画の検討)	*

●検討の目的

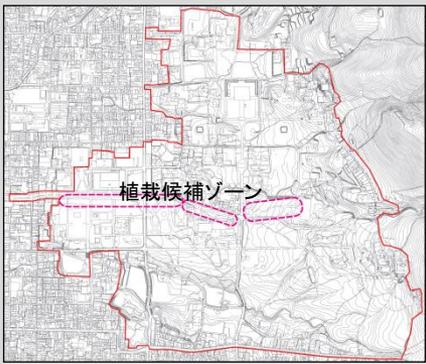
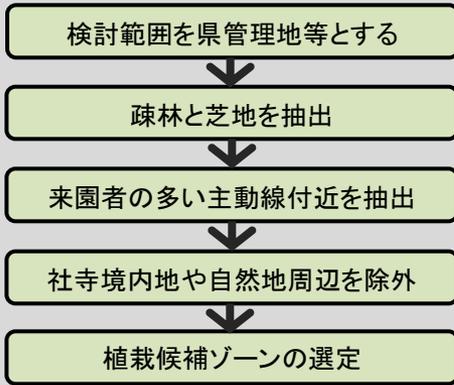
本検討は、「第1章 草花類の植栽方針（案）の検討」によって設定された開放区の草花類植栽についての基本方針（案）と「第3章 開放区の植栽方法の検討」の検討結果を受けて、主に県事業区域の開放区への草花類植栽の導入に向けて具体的な整備内容を検討するものである。

1. 前提条件の整理

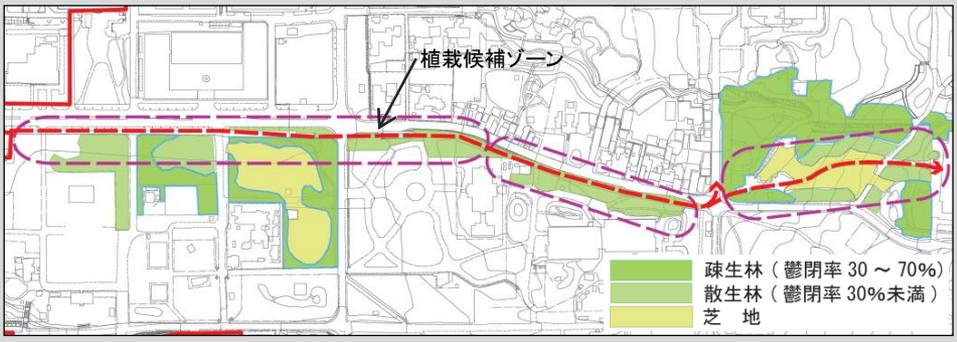
(1) 植栽地の選定

1) 選定プロセスの概要

植栽候補ゾーンの選定：草花植栽に適したゾーンを選ぶ

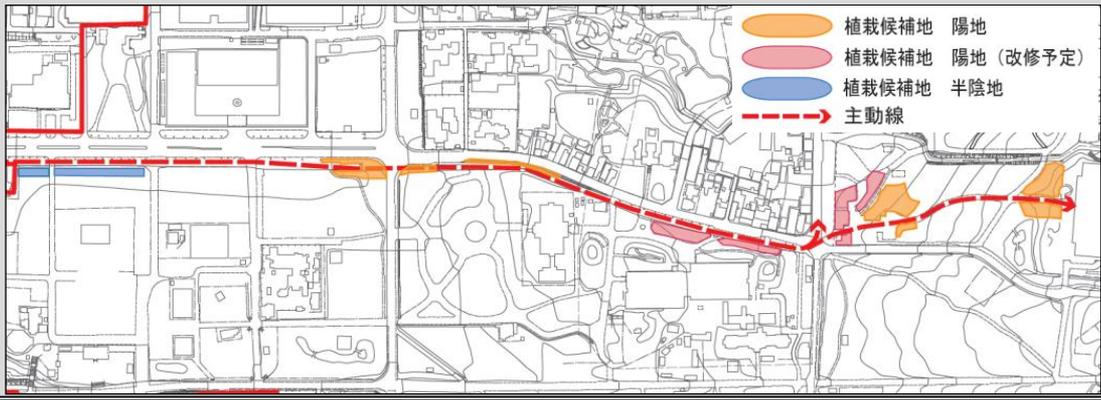
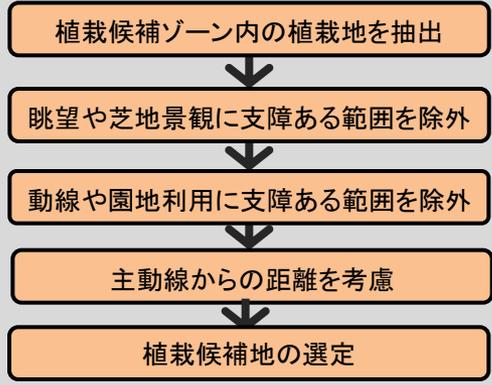


図：公園全体での位置



図：植栽候補ゾーンに掛かる疎林と芝地

植栽候補地の選定：草花植栽が可能な植栽地を選ぶ



図：植栽候補地

植栽整備地の選定：草花植栽整備を行う植栽地を選ぶ



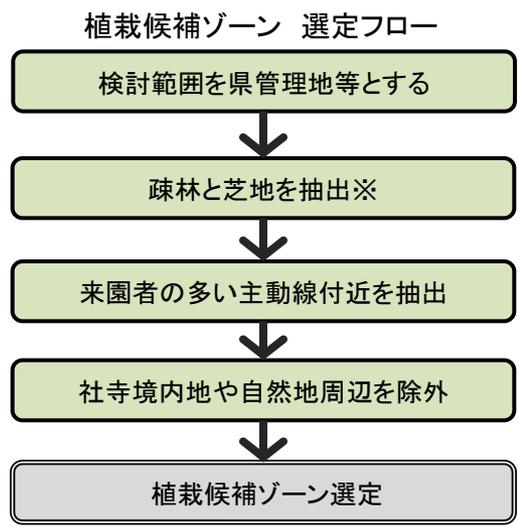
図：植栽整備地

1. 前提条件の整理

(1) 植栽地の選定

2) 植栽候補ゾーン選定資料

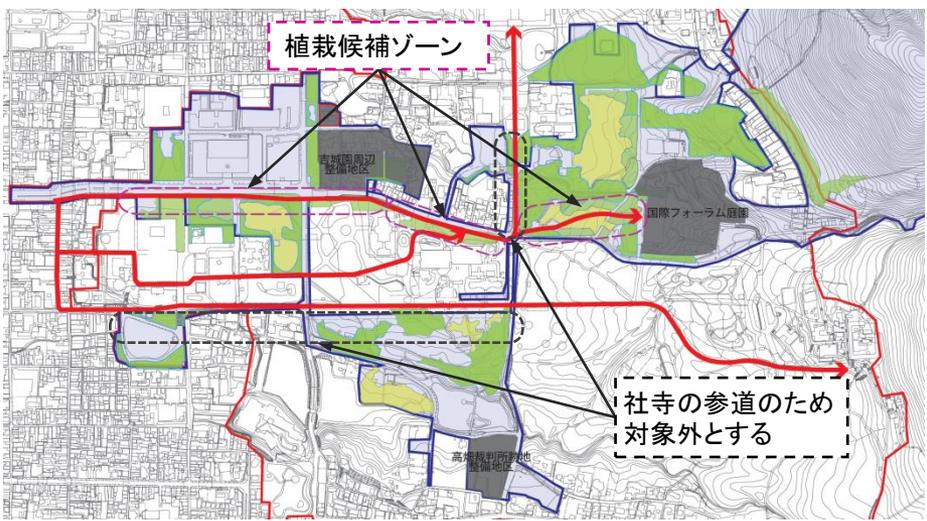
公園全体の中から草花類植栽を行うべきゾーンを選定する。選定は右のフロー図に従って検討を行う。
 検討結果として、右図のとおり近鉄奈良駅～登大路～浮雲園地～国際フォーラムに至る動線沿いが、植栽候補ゾーンとなる。



※疎林と芝地以外は、主に鬱閉した樹林、水面、園路広場等である



図：植栽候補ゾーンと疎林・芝地



図：植栽候補ゾーンの選定要素



航空写真 2008年撮影

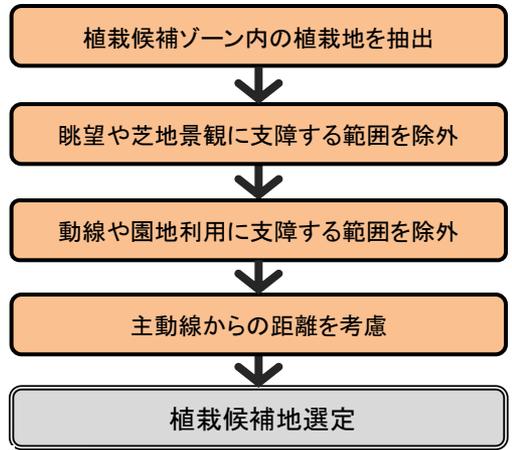
1. 前提条件の整理

(1) 植栽地の選定

3) 植栽候補地選定資料

植栽候補ゾーンの中から草花類植栽に適した場所を選定する。
結果として、登大路園地や浮雲園地、国立博物館西側の広い芝生地などが除外される。

植栽候補地 選定フロー



- 眺望や芝地景観に支障する範囲
- 動線や園地利用に支障する範囲
- 主動線

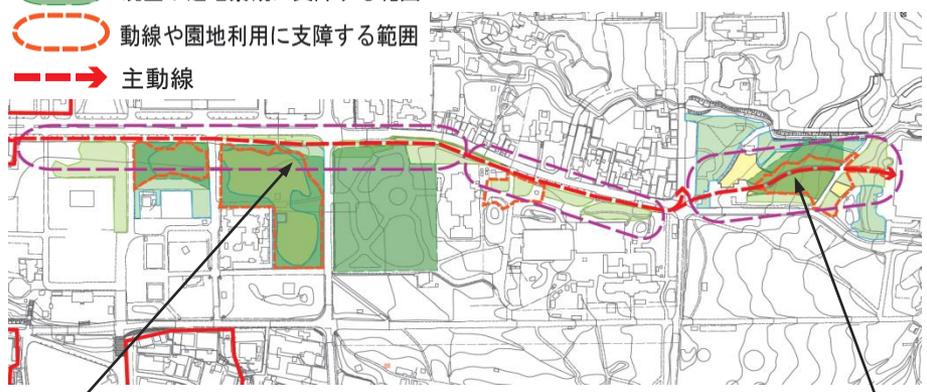


図: 植栽候補地 検討要素

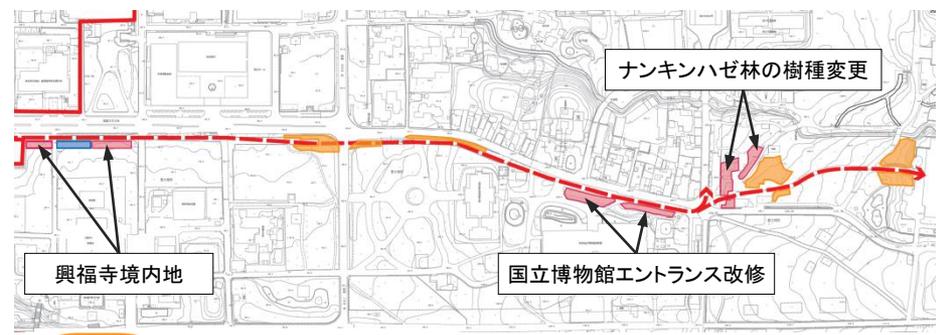
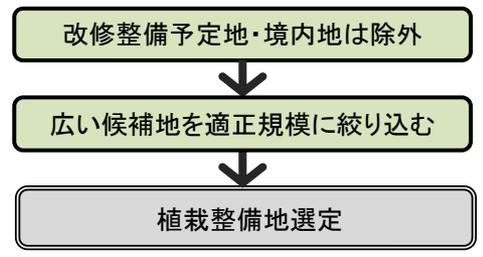


保全すべき眺望・芝地景観（動線からの景観）

4) 植栽整備地選定資料

植栽候補地の中から草花類植栽の整備を行う場所を選定する。
結果として、国立博物館エントランス、浮雲園地ナンキンハゼ林、興福寺境内地などが除外される。

植栽整備地 選定フロー



- 植栽候補地 陽地
- 植栽候補地 半陰地
- 除外地（改修予定・境内地）
- 主動線

図: 植栽整備地 検討要素

1. 前提条件の整理

(2) 植栽条件の整理

1) 植栽地の条件

① 図書館跡園地他



② 県庁東交差点



③ 国博北園路



	日照	踏圧等	観賞場所	配慮事項
① 図書館跡園地他	陰地	なし	園路	一部興福寺
② 県庁東交差点	半陽地	一部あり	園路・車道	自動車の視距
③ 国博北園路	半陰地	なし	園路	奥行狭い
④ 浮雲園地	陽地	ほぼなし	広場	イノシシ掘起
⑤ 国際フォーラム前庭	陽地	なし	園路	イノシシ掘起

② 県庁東交差点



③ 国博北園路



クロマツの補植予定あり

④ 浮雲園地



⑤ 国際フォーラム前庭

④ 浮雲園地



背景植栽の伐採・補植予定あり

⑤ 国際フォーラム前庭



クロマツ補植・移植、サルスベリ伐採・補植予定あり

1. 前提条件の整理

(2) 植栽条件の整理

2) 植栽種の種類

① 開花時期

- ・ 主動線周辺の主要な既存花木の観賞適期をまとめると、下表のとおりとなる。これによると5～7月、9月に抜けが生じている。
- ・ 草花類植栽は、この5～7月、9月に抜けを埋める植物種が望ましい。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ウメ		■	■									
アセビ			■									
サクラ類			■	■								
フジ				■								
サルスベリ							■					
ナンキンハゼ										■		
モミジ											■	
ツバキ類		■	■	■								■

※ウメとツバキ類は制限区の国際フォーラム庭園内に位置している。

② 植栽種

- ・ 植栽種は、「第1章 草花類の植栽方針（案）」で設定された草花類から選択する。

○ 奈良公園の在来の草花類

アセビ、ワラビ、ウツギ、アジサイ、ススキ、ノアザミ、マルミノヤマゴボウ、カンサイタンポポなど

※下線は万葉集に記載がある草花類

○ 万葉集に記載がある草花類

主な草花類は、右表のとおり

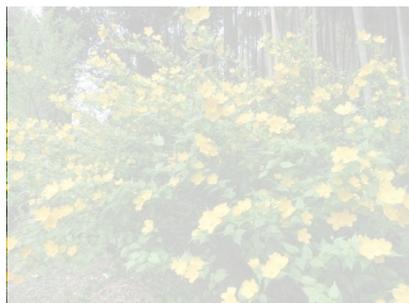
現代花名	万葉花名	移入種 (原産地)	現代花名	万葉花名	移入種 (原産地)
低木			ツクバネソウ	つちはり	
アジサイ	あぢさゐ		ツボスミレ(タチツボスミレ)	つぼすみれ	
アセビ	あしび		ツクサ	つきくさ	
ウツギ	うのはな		ノジグク	ももよぐさ	兵庫以西
クサイチゴ	いちし		ハマユウ	はまゆう	本州南岸
ジンチョウゲ	さきくさ	中国	ヒオウギ	ぬぼたま	
ツツジ類	つつじ		ヒガンバナ	いちし	
ツバキ	つばき		ヒメシャガ	はなかつみ	
ニワウメ	はねず	中国	ヒメユリ	ひめゆり	
ハギ、ミヤギノハギ	はぎ		フキノウ	な	
ミツマタ	さきくさ	中国	フジバカマ	ふぢばかま	
ムクゲ	かほばな	中国	マルミノヤマゴボウ	さきくさ	
ヤマブキ	やまぶき		メハジキ(ヤクモソウ)	つちはり	
多年草			ヤブカンゾウ、ヘメロカリス類	わすれぐさ	中国
アマドコロ	ところづら		ヤブコウジ	やまたちばな	
アミガサユリ(バイモユリ)	はは	中国	ヤブラン	やますげ	
イカリソウ	さきくさ		ユリ(ササユリなど)	ゆり	
イワタバコ	やまちさ		リンドウ	思ひ草	
エンレイソウ	つちはり		ワラビ、イワヒメワラビ	わらび	
オキナグサ	ねっこ草		一年草		
オケラ	おけら		アサガオ	あさがほ	熱帯アジア
オミナエシ	をみなへし		ケイトウ	からあみ	熱帯アジア
カタクリ	かたかご		ハハコグサ	な	
カワラナデシコ	なでしこ		ベニバナ	くれなる	エジプト
キキョウ	あさがほ		レンゲ(ゲンゲ)	えぐ	中国
コウゾ	たく		蔓植物(一年草除く)		
コウヤボウキ	たまはばき		アオツツラフジ	つづら	
ササ類	ささ		クズ	くず	
シャガ	はなかつみ	中国	テイカカズラ	いはづな	
ジャノヒゲ	やますげ		ナツフジ	ふじ	
シュラン	らに		ノイバラ・テリハノイバラ	うまら	
シラン	けい		ヒルガオ	かほばな	
ススキ	をばな		水生植物		
スミレ	すみれ		カキツバタ	かきつばた	
タチアオイ	あふい・あふひ	トルコ	ノハナショウブ	はなかつみ	
タチバナ	たちばな		ハス	はちす	
チカラシバ	しばくさ		ヒツジグサ	たはみづら	

1. 前提条件の整理

(2) 植栽条件の整理

3) 代表的な植栽種 (参考写真)

ヤマブキ



シラン



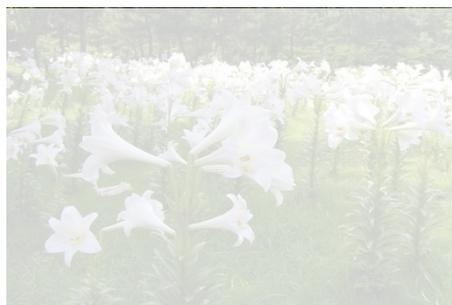
ウツギ



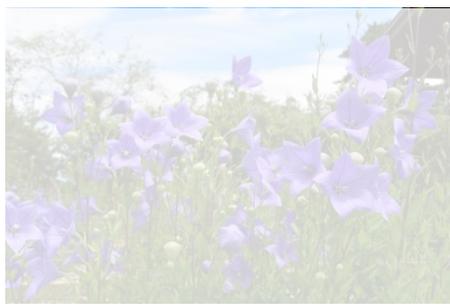
ヒメユリ



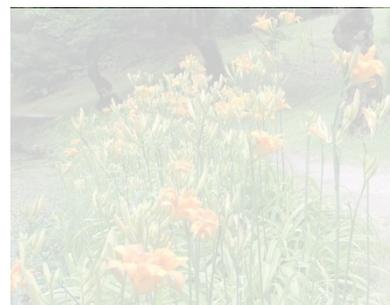
ユリ



キキョウ



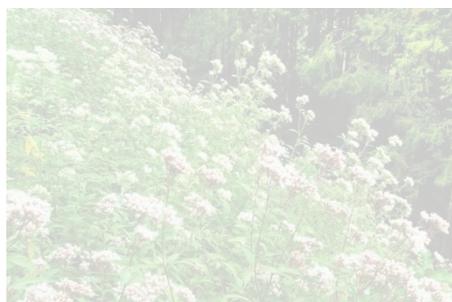
ヤブカンゾウ



オミナエシ



フジバカマ



ハギ



ヒガンバナ



ススキ



2. 配植の検討

(1) 配植方針

1) 草花類植栽の配植方針

配植方針

○奈良公園らしい季節の花が感じられる植栽とする。

- ・万葉植物の中からおおらかな景観に馴染む花を植栽する。
- ・既存花木と組み合わせ、どの季節も楽しめる花の植栽とする。

○草花類植栽は、花がない季節も修景効果のある植栽とする。

- ・常緑のササ類やシダ類を織り交ぜ、年中緑を維持する。
- ・バリアは最低限の高さの竹柵を用いて景観に支障ないものとする。

○草花類植栽は、植栽管理の負担は最小限度に抑える。

- ・草花類植栽は、原則として強健で植替不要な植栽とする。
- ・管理負担が大きいプランター植栽は行わない。

2) 植物種の選定

植栽種

植栽種は、以下の万葉の草花類・在来の草花類を用いる。

(万葉の草花類)

低木: ヤマブキ、ウツギ、ムクゲ、ハギ

多年草: カワラナデシコ、シラン、ヒメユリ、ユリ、タチアオイ、ヒオウギ、ヤブカンゾウ、メハジキ、キキョウ、オミナエシ、フジバカマ、ヒガンバナ、ススキ

つる性: テイカカツラ、ノイバラ・テリハノイバラ、ヒルガオ、アオツヅラフジ、ナツフジ

地被類: フラビ、イワヒメワラビ、クマザサ、コグマザサ

(在来の草花類)

多年草: ノアザミ、マルミノヤマゴボウ

※下線は外来種を示す。

① おおらかな景観に馴染む花

主動線を歩いていて現れる景観の特徴は、“クロマツと芝地の拡がりある景色が連続する” “動線の進行方向に若草山が見え、そこに向かって景色が展開する” ことがあげられる。これらにより花の背景には拡がりのある空間が意識されることから、草花類は背景を遮蔽することなく、できれば若草山や芝地を背景にして重ねたときに美しく見える草花が望ましい。

若草山や芝地を背景にして重ねたときに美しく見える草花の特徴としては“風にそよぐ” “向こうが透けて見える” “逆光で美しく見える” 等が考えられる。

② どの季節も楽しめる花

既存花木と草花類植栽を組み合わせ、どの季節も花が楽しめる植栽とするため、5～7月、9月に開花する草花類を選択する。

③ 強健で植え替え不要な草花類

強健で植え替え不要な植栽とするため、草花類は原則として地域に古くから見られる花木、多年草・球根類を選択する。

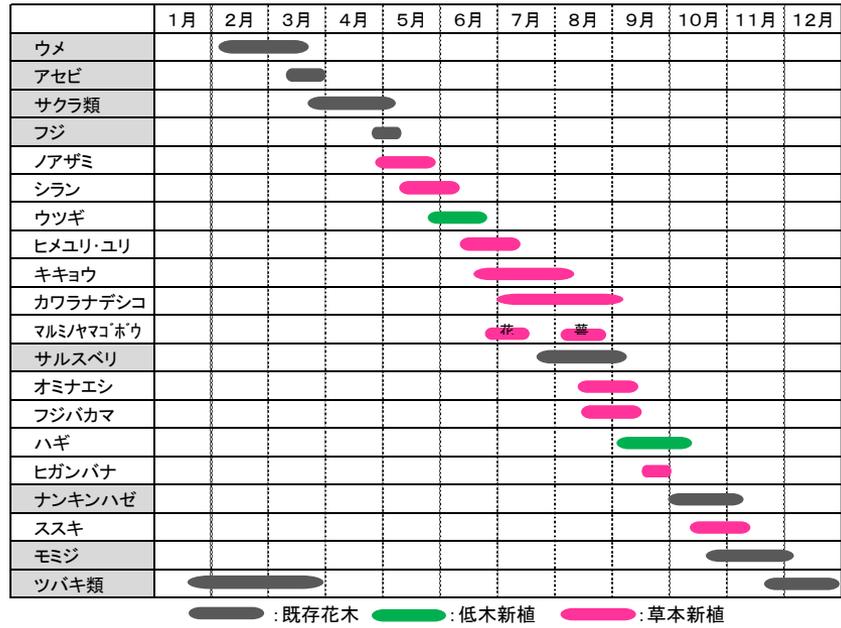
2. 配植の検討

2) 植栽箇所別の配植

● 植栽地の位置



● 開花時期(計画)



① 図書館跡園地他

配植方針
 人が立ち入らない半陰地の立地を活かし、不嗜好性草花のマルミノヤマグボウの小さな群落を点在させる。

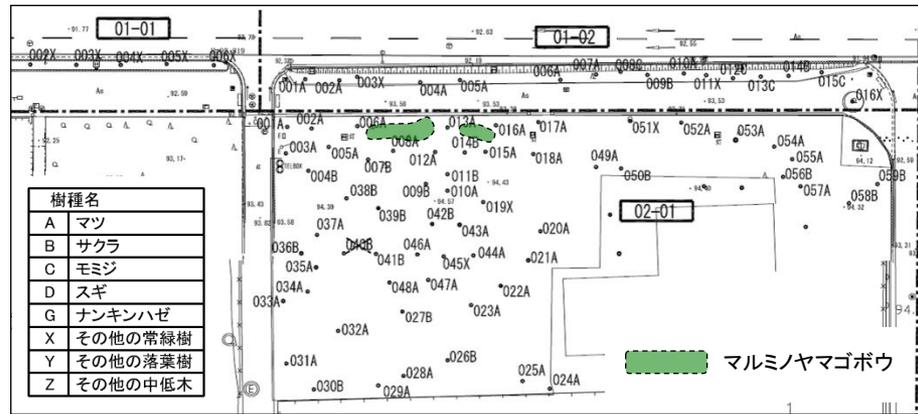


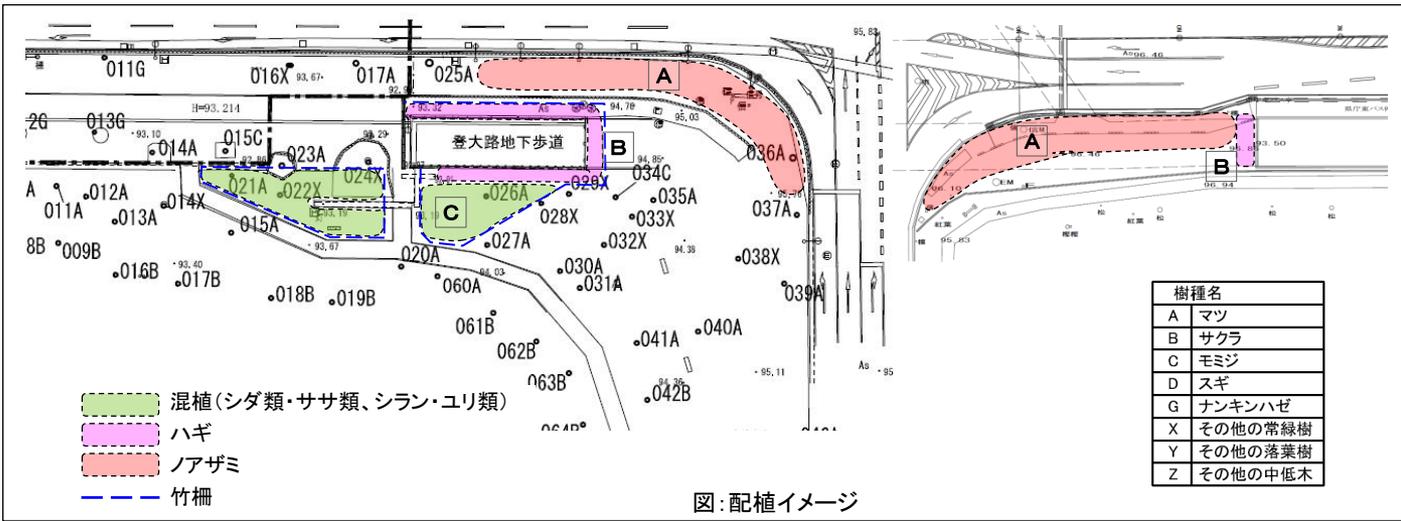
図: 配植イメージ

植栽種	マルミノヤマグボウ	半陰地に適する
配植	単植 10~30m2程度の群落を複数箇所配置する	
バリア	不嗜好性植物のため不要	
留意点	広葉樹伐採、クロマツ苗木植栽工事の予定あり	

2. 配植の検討

2) 植栽箇所別の配植

② 県庁東交差点



図：配植イメージ

植栽A 配植方針：人が立ち入らない陽地の立地を活かし、芝地に不嗜好性草花のノアザミを混ぜて植栽し、面的な彩りを演出する。

植栽種	ノアザミ 5~6月開花 落葉多年草	陽地に適する
配植	単植、但しシバ草混じり 200m2程度に、密度を変えて配植する	
バリア	不嗜好性植物のため不要	

植栽C 配植方針：草丈の低いササ類、シダ類で常緑のベースをつくり、その中に花穂が上がる草花を混ぜ植えし、自然な季節の彩りを演出する。

植栽種	イワヒメワラビなど 常緑 コグマザサ 常緑 シラン 5~6月開花 落葉多年草 ユリ類 5~6月開花 落葉多年草	半陽地に適する 陽地に適する 同上 同上
配植	混植。草丈の低い地被類の中に、球根類を混ぜ、季節になると球根の花が咲く配植	
バリア	竹柵 H=1.2	
留意点	広葉樹の伐採工事の予定あり	

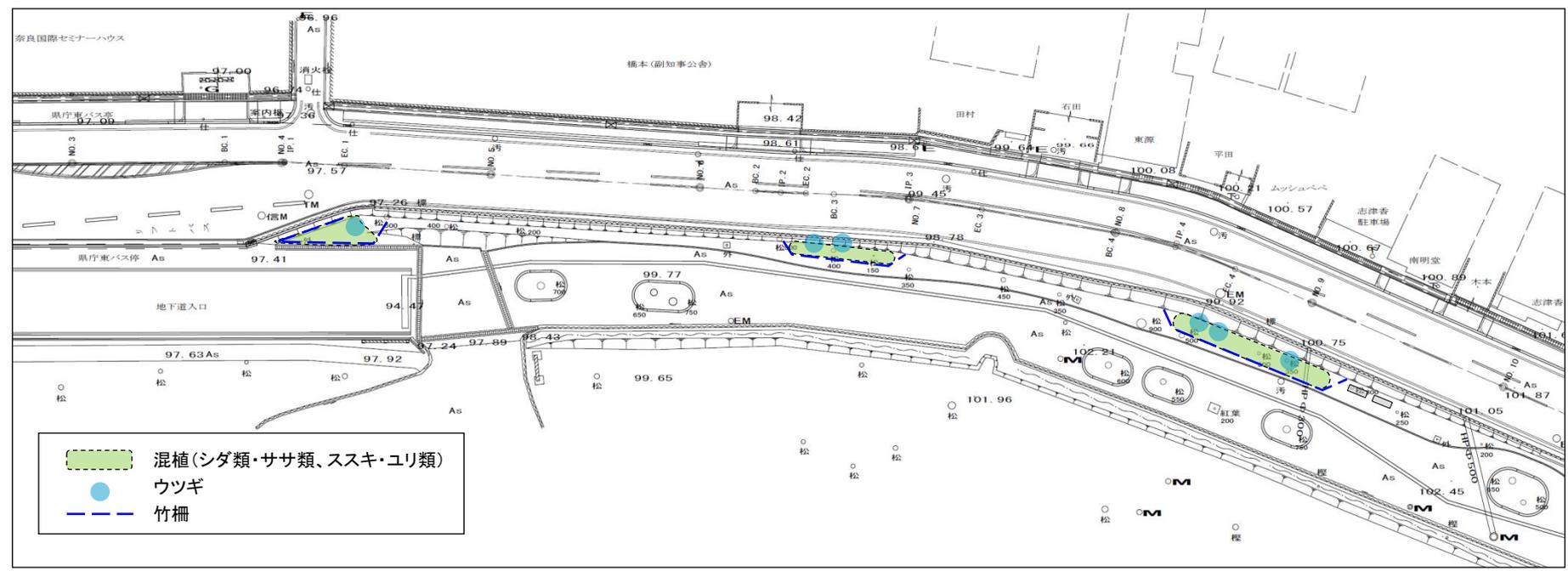
植栽B 配植方針：地下道の柵沿いにハギを列植し、枝垂れる花を演出する。

植栽種	ハギ 9~10月開花 落葉低木	陽地に適する
配植	列植	
バリア	竹柵 H=1.2	

2. 配植の検討

2) 植栽箇所別の配植

③国博北園路



配植方針

- ・草丈の低いササ類、シダ類で常緑のベースをつくり、その中に花穂が上がる草花を混ぜ植えし、自然な季節の彩りを演出する。
- ・法面にススキが自生するので、ススキを植栽して馴染ませる。
- ・背面が法面なのでバリアは手前部分のみとする。



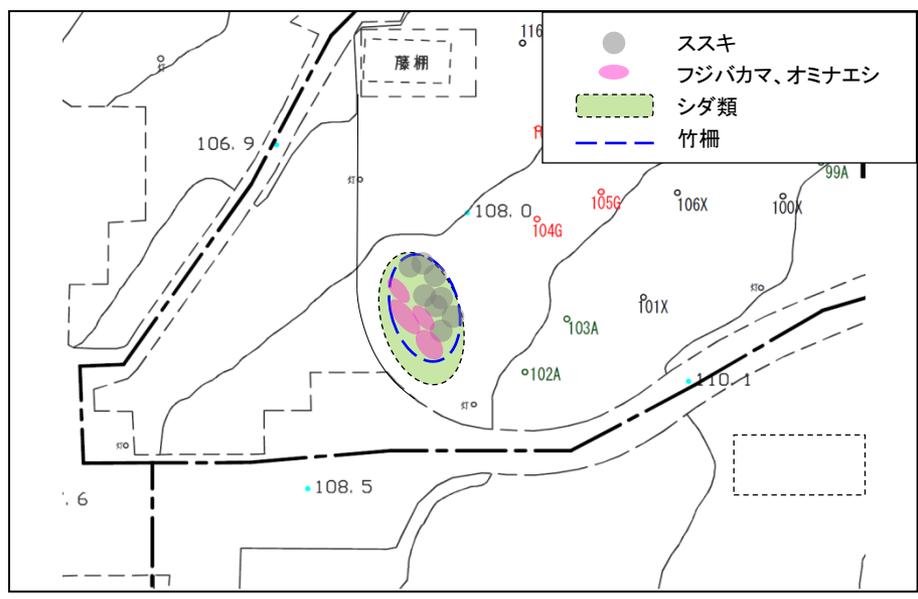
法面に自生するススキ

植栽種	イワヒメワラビなど コグマザサ ススキ ユリ類	常緑 常緑 10~12月開花 5~6月開花	落葉多年草 落葉多年草	半陽地に適する 陽地に適する 同上 同上
配植	混植。草丈の低い地被類の中に、球根類とススキを混ぜ、季節になると球根の花が咲く配植。			
バリア	竹柵 H=1.2			
留意点	クロマツの補植工事の予定あり			
植栽種	ウツギ	6~7月開花	落葉低木	陽地に適する
配植	点植			

2. 配植の検討

2) 植栽箇所別の配植

④浮雲園地

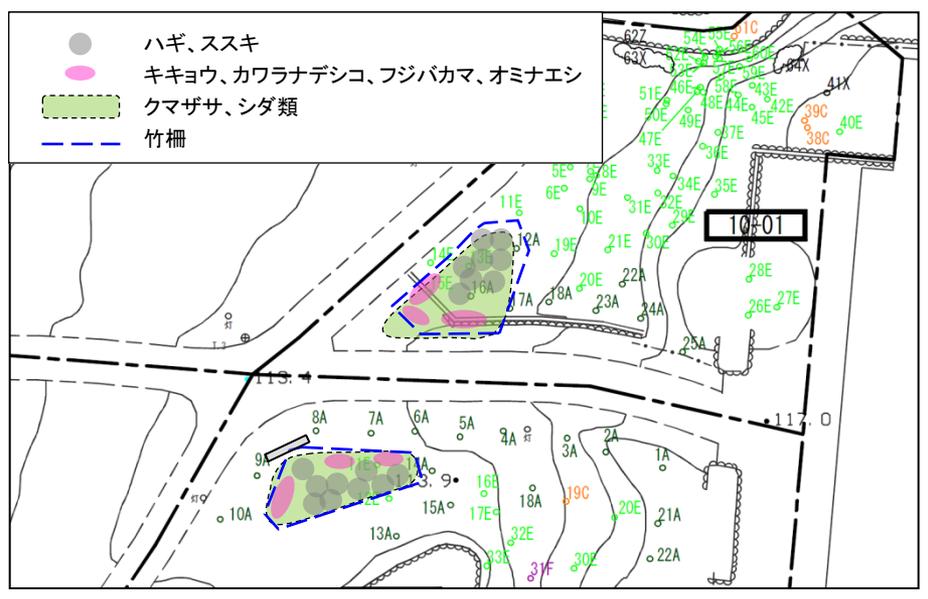


配植方針

- ・開けた空間にあわせて、風に揺らぐ高性草花でおおらかな花姿を演出する。
- ・若草山の草地と関係づけて、草花の後背にススキを植栽する。
- ・「秋の七草」の高性草花であるフジバカマ、オミナエシを植栽する。
- ・バリアの姿を和らげるため、外周にシダ類を植栽する。

植栽種	ススキ 10~12月開花 落葉多年草 フジバカマ、オミナエシ 8~9月開花 落葉多年草 イワヒメワラビなど 常緑	陽地に適する 同上 半陽地に適する
配植	混植。秋の七草のうち草丈のある草花類を植栽する。 バリア外部はシダ類を植栽する。	
バリア	竹柵 H=1.2 イノシシ掘起対策が必要。	
留意点	広葉樹の伐採、クロマツの補植の工事予定あり	

⑤国際フォーラム前庭



配植方針

- ・エントランス空間を演出するため、同様の群落を左右に配置する。
- ・草丈の低いササ類、シダ類の中に「秋の七草」の草花を多種植栽する。

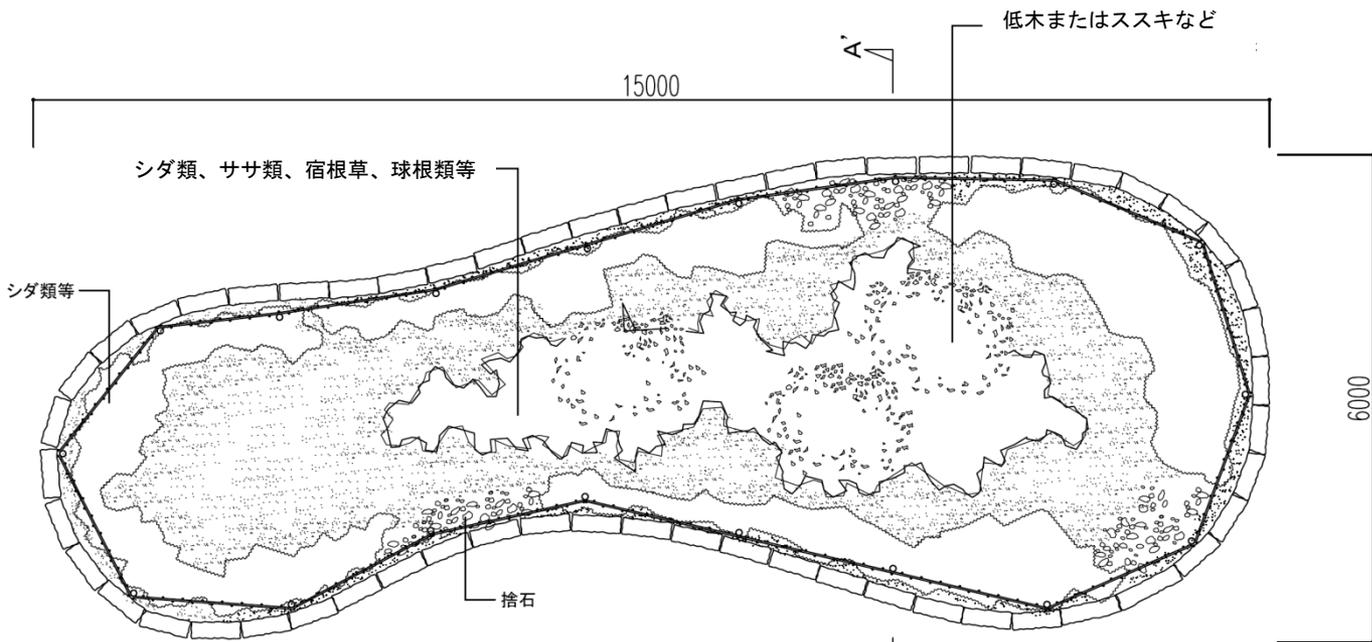
植栽種	ハギ 9~10月開花 落葉低木 ススキ 10~12月開花 落葉多年草 キキョウ 6~8月開花 落葉多年草 カワラナデシコ 7~9月開花 落葉多年草 フジバカマ、オミナエシ 8~9月開花 落葉多年草 イワヒメワラビなど 常緑	陽地に適する 同上 同上 同上 同上 半陽地に適する
配植	混植。秋の七草のうち草丈のある草花類を植栽する。 バリア外部はシダ類を植栽する。	
バリア	竹柵 H=1.2 イノシシ掘起対策が必要。	
留意点	サルスベリの伐採・移植、クロマツの移植の工事予定あり	

※秋の七草: ハギ、キキョウ、クズ、フジバカマ、オミナエシ、ススキ、カワラナデシコ

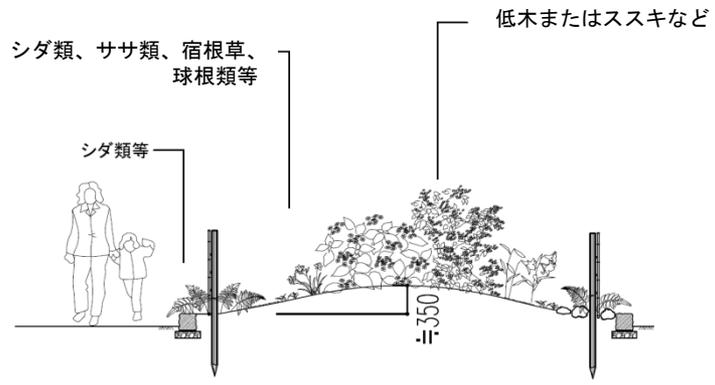
2. 配植の検討

(3) 植栽標準図

① バリアー植栽



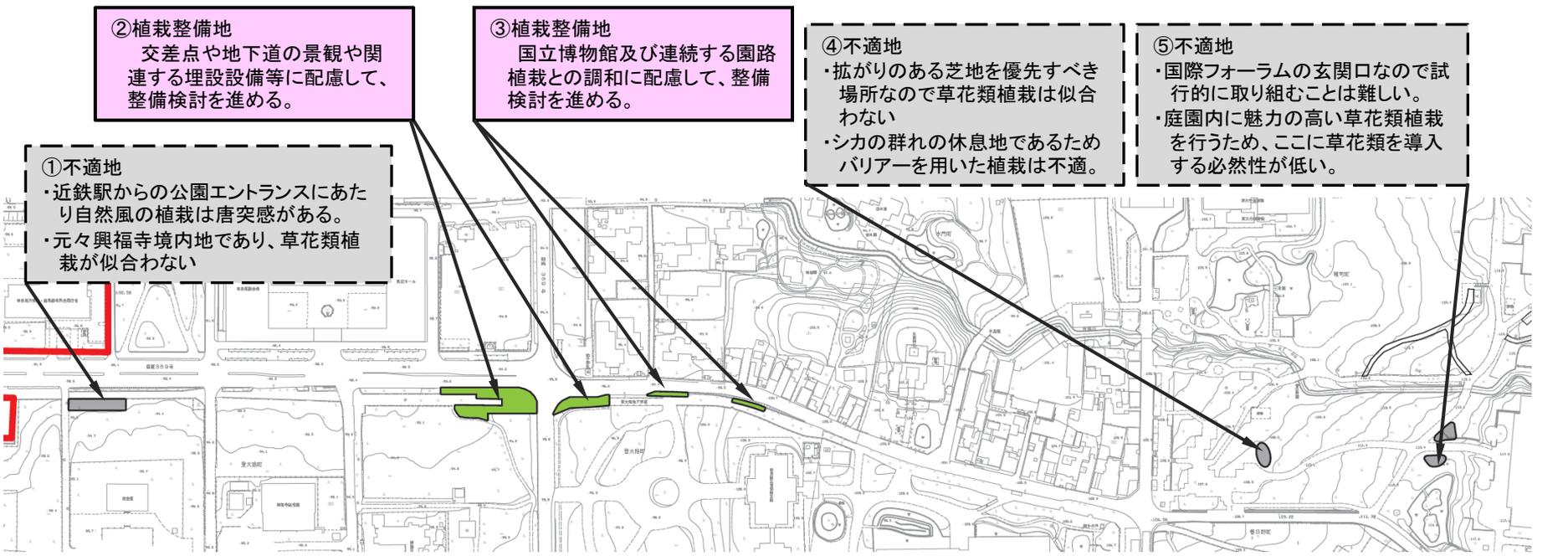
平面図



A-A'断面図

草花類の植栽整備地
 草花類の植栽整備は、次の2箇所を対象に試行的な整備の検討を進める。

これまでの草花類植栽の検討内容について、奈良公園植栽管理者連絡会及び奈良県担当部局内で協議・検討を行った結果、5箇所の整備地のうち2箇所を対象に、試行的整備の検討を進めることとした。



② 県庁東交差点

③ 国博北園路

② 県庁東交差点

③ 国博北園路

